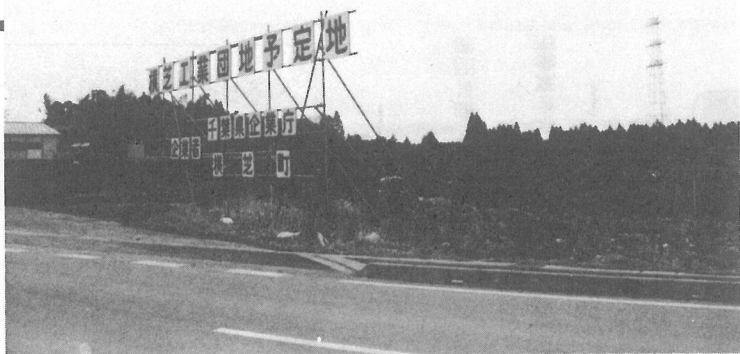


# 新年度

# 最重点は工業団地

# 東陽病院建設工事も本格始動



町の発展上、大きな期待のかかる工業団地（予定地）

## 12月定例町議会 一般質問

12月の定例町議会では、3議員が一般質問を行いました。新年度の構想を正したのに対し、佐瀬町長は道路網の整備など5項目をあげ、21世紀に向けての快適なまちづくりに積極的に取り組む姿勢を示しました。以下一般質問の概要をご紹介します。

### 新年度の 事業計画

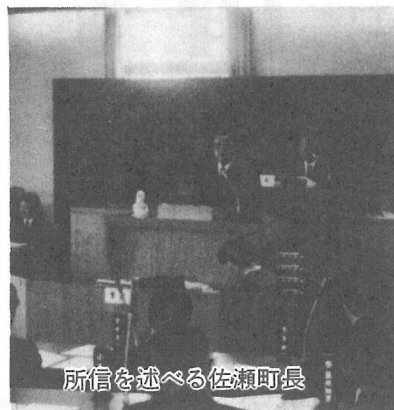
- 新年度の事業計画と予算構想について伺いたい。
- 横芝町第3次総合計画に基づいて取り組んでいくが、主な事業は次のとおり。
- ① 道路網の整備として、県道横芝山武線の改良工事など。
- ② 公園緑地の整備として、坂田池のふれあい公園（仮称）や栗山旧飛行場跡地への平和公園、小堤の溜池整備など。
- ③ 農業の振興として、屋形地区への乾燥調整施設の整備や長倉・鳥喰下地区の排水整

備など。

- ④ 生活環境の整備として、合併処理浄化槽に町の補助金を上乗せして普及に努める。また、ゴミ処理対策では環境衛生組合の充実（機械の更新、用地購入）を図る。
- ⑤ 福祉・医療の充実として東陽病院の改築、老人対策、集会所の建設など。

### 海岸観光と 環境問題

- 屋形海岸の環境整備護岸工事の進捗状況は
- 昭和62年から5か年計画で行われている県営事業で、平成元年度までの進捗率は43%、平成3年に終了する。
- 港湾敷地内の有効活用について
- 漁港区域は県営であるので民間の使用は出来ないが、将来モーターボートやつり舟等観光的なものに利用したらどうかということ、来年から漁港利用調整事業に取り組みべく、調査・研究に入りたい。
- 海の家撤去の経過と今後の対応は
- 昭和62年の海岸整備計画の実施に伴い話し合いが行われ、円満のうちに撤去に及んだ。海岸整備後の配置につい



所信を述べる佐瀬町長

ては、海の家要望も含め検討する。

- 観光産業のため、海岸まで直道の道路が欲しいが
- 海岸に住んで一番恐ろしいのは津波と台風である。唯一自然景観を残す白砂青松の九十九里海岸に住むものにとって、命の次に大事なものは砂防林であると思う。松を伐採し自動車が入られ、公害等の問題も起こるので専門的立場から調査をしていかなければならない。また夏の暴走族等の公害、海の家等を考えながら対処して行きたい。

### 大総新道の 事故対策

○ 大総新道を利用して若者